

## 衛星観測に関する事業

| 委員会の主要意見       |   | 主要意見に対する国環研の考え方  |
|----------------|---|--|
| 現状についての評価・質問など | <p>継続し観測データを提供する重要なプロジェクトである。</p> <p>GOSAT-2 のカラム平均濃度の精度が向上し GOSAT からデータが連続的に繋がり安堵した。CO<sub>2</sub> のみならずメタンについても逆解析から精密なデータが創出され着実に発展している。世界に誇る事業であり、ますますの拡充を期待する。</p> | <p>評価いただき、ありがとうございます。今後も事業を着実に推進します。</p>   |
| 今後への期待など       | <p>GOSAT-GW は気候変動のモニタリングの一翼を担う重要なものであり、多くの研究者の利用が見込まれる。今の段階で様々なキャンペーンを打って、利用方法、データ授受のインターフェースなどを考えると良いのでは。また、人員配置に力をいれてオープンデータの取組を充実すれば国際的な利用も促進されるだろう。</p>             | <p>今年度から内外の民間企業／団体とのヒアリング／意見交換を強化したところでもあり、今後も様々な関係者の利用方法、データインターフェースに関する要望を調査し、できるところから取り込んでいきます。オープンデータについては国環研全体として力を入れ始めているところでもありますので、所内関係部署と連携して対応を進めます。</p> |
|                | <p>今後、GOSAT-GW が打ち上がった後は、さまざまな仕事が増えるだろうが、若手研究者に過度な負担が増えないよう十分に配慮してほしい。</p>  | <p>ご指摘の通り仕事が増えることが予想されますので、若手研究者への負担が過度に増えることのないよう、仕事そのものの必要性を精査するとともにシニア層などを中心に分担をしていきます。</p>   |
|                | <p>さらなる情報発信が望まれる。</p>   | <p>GOSAT-GW の打上げに向けた広報／情報発信活動について、環境省／JAXA と調整を始めました。GOSAT、GOSAT-2 についてもさらなる情報発信に努めます。</p>   |
|                | <p>ロシアのウクライナ侵攻の環境影響の観測なども期待しています。</p>   | <p>今後も可能な範囲で異常事象の監視やその情報提供などに取り組みます。</p>   |
|                | <p>他国の同様の観測衛星との違いや関係などについても説明があれば良かった。</p>  | <p>GOSAT シリーズの連携相手かつ競争相手である他国の同種の衛星については情報収集と分析を絶えず行っています。次の機会にその概要などをご説明させていただきます。</p>  |